

# 第3期鳥取市中心市街地活性化基本計画 骨子案

【検証】

<p>■「街なか居住の推進」 を踏まえた新たに対応すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化への対応</li> <li>● 若年層（子育て世代を含む）の定住促進</li> <li>● 地域コミュニティの維持・充実</li> <li>● 空き家等の利活用促進</li> </ul>	<p>■「賑わいの創出」 を踏まえた新たに対応すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常的な賑わいにつながる仕組みづくり</li> <li>● 来街者の回遊性・滞在性の向上</li> <li>● 集客効果の商業への波及</li> <li>● 空き店舗等の利活用促進</li> </ul>
--	---

■ 今後の5年間のうちに生じる新たな状況

- 中核市への移行（連携中枢都市圏の形成）
- 市役所本庁舎の移転
- 鳥取城跡大手登城路復元整備の完了

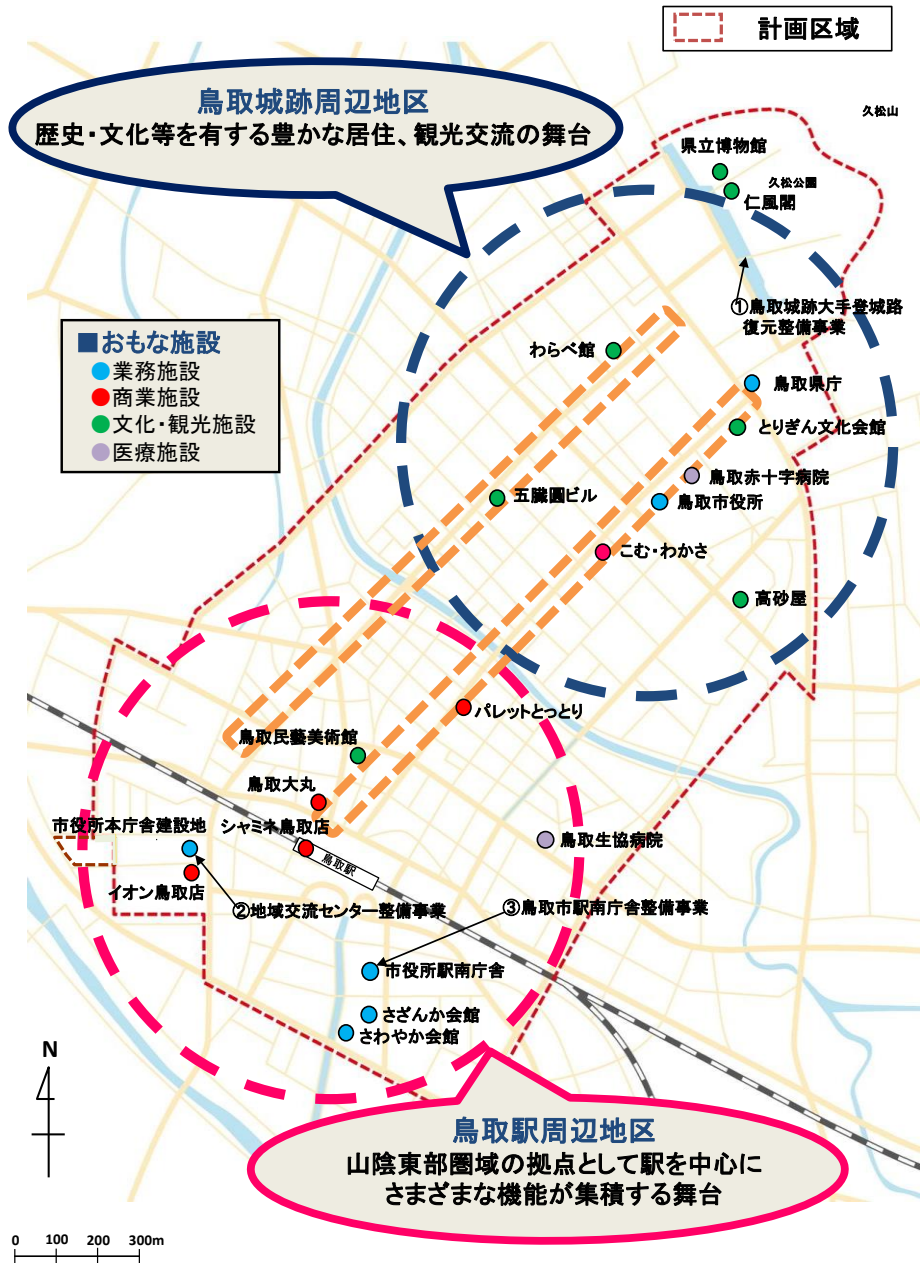
【テーマ】

■ (仮)人々が集まり、暮らし、活力にあふれるまち

【計画期間】

■ 平成30年4月 ～ 平成35年3月（5年間）

【エリア】



# 基本方針

## ■ 交流による活気のあるまち

自然、歴史、文化などの地域資源や、鳥取民藝、まちのお店や人々など、鳥取らしさをいかした観光交流を促進することにより魅力と活気にあふれる中心市街地の形成をめざします。

## ■ 誰もが豊かに暮らせるまち

地域コミュニティの充実、快適で安全安心な生活環境づくりにより、さまざまな世代の人々が豊かでいきいきと暮らすことができる中心市街地の形成をめざします。

# 目標・指標

## ■ 地域資源等をいかした交流人口の拡大

- ・文化・観光・交流施設利用者数

## ■ 滞在・回遊による経済活力の向上

- ・歩行者・自転車通行量
- ・年間宿泊者数
- ・年間売上額

## ■ 若年世代のまちなか暮らしの促進

- ・45歳未満の居住人口(社会増減数)

# 重点施策

## ■ 鳥取駅周辺の多様な機能の拡充による賑わいの再生

- ・中核市への移行と併せて進める連携中枢都市圏の形成において、本市は中心市としての役割を求められています。その本市の玄関口となる鳥取駅周辺では、交通や商業、公共サービス、交流、防災等の多様な機能を重点的に充実させます。
- ・新たな人の流れを創出するため、バリアフリー化も含め、駅北側商業街区から駅南口に至るアクセスの改善等を図ります。

## ■ 地域資源等の活用による観光交流の促進

- ・鳥取城跡周辺では、お堀端周辺の修景・景観保全の必要性を踏まえ、城跡の復元整備、道路機能の拡充等を進めるとともに、観光客等の受け入れ態勢を一層充実するため、城跡周辺の案内機能、駐車場機能、商業機能等を重点的に整備・改善し、観光エリアとしての魅力向上を図ります。
- ・鳥取民藝等の文化、鳥取温泉などの資源、個性ある店舗や街で活躍する人々など、鳥取らしさを活かした魅力を発信し、集客力の向上をめざします。

## ■ 中心市街地内の滞在性・回遊性の向上と経済活力の向上

- ・観光交流などによる来街者が中心市街地で多くの時間を過ごし、様々な場所を回遊する仕組みづくりを行います。
- ・新規開業の促進や既存個店の強化を行うことで、来街者の消費活動につなげていきます。

## ■ 既存ストックの活用等による地域の再生

- ・中心市街地における空き家、空き地等を含め、これら既存ストックを「資源」として活用し、新たな魅力の創出や若年層の定住促進につなげます。
- ・地域と連携した空き家等の掘り起こし、地域課題を解決する活用を促進するとともに、既存ストックの活用を通じたこれからの街を担う人材育成を進めます。